



Cation Sealer

下地への密着性・耐久性がさらにUP!

カチオンシーラー 水性 強浸透性

水性塗料用下塗り剤

透明(クリア)

(社)日本塗料工業会登録
登録商標 A02133
F☆☆☆☆
適合先 <http://www.toryo.or.jp>
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に適用可能な塗料です。

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/ 2~3時間

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

- コンクリート・モルタル・ブロックなどの外壁、塀、屋上、ベランダ、ガレージに
- コロニアル、カラーベスト、スレート瓦、各種セメント瓦に

カチオン
(プラスイオン)

本品

⊕と⊖のイオンが
電氣的に引き合い
密着性・耐久性がUP!

防カビ剤
配合

3L

標準塗り面積(1回塗り)
吸い込みの少ない箇所 24~30㎡
タタミ15~18枚分
吸い込みの多い箇所 15~18㎡
タタミ9~12枚分

上塗り塗料

下地

アニオン
(マイナスイオン)



Cation Sealer

下地への密着性・耐久性がさらにUP!

強浸透性 水性 シーラー

カチオンシーラー

水性塗料用下塗り剤

透明(クリア)

- コンクリート・モルタル・ブロックなどの外壁、塀、屋上、ベランダ、ガレージに
- コロニアル、カラーベスト、スレート瓦、各種セメント瓦に

カチオン
(プラスイオン)

本品

⊕と⊖のイオンが
電氣的に引き合い
密着性・耐久性がUP!

防カビ剤配合

注意書きをよく読んでから
使用して下さい。

3L

上塗り塗料

下地

アニオン
(マイナスイオン)

商品名 強浸透性水性シーラー 品名 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(カチオン系シリコンアクリル)、防カビ剤、水
特長

- 浸透性に優れており、劣化した下地に奥深く浸透して下地を補強します。
- カチオン樹脂により下地と上塗り塗料の密着性を高めます。
- たばこのヤニ、油シミ等を抑える効果があります。
- 防カビ効果があります。
- 水性なので取り扱いや後始末が簡単です。

用途

- スレート瓦、セメント瓦、コンクリート床、ブロック塀、モルタル壁などへの塗装時の下塗り
- 塗り替え時の旧塗膜面への下塗り
- 頻繁に水がかかるところ、いつも濡れているところ、アスファルト面、劣化の激しい下地には使用できません。
- 劣化が激しく、手で触ってポロポロと砂のように取れるような場合には十分な効果が得られませんのでアサヒペン油性シーラーを使用して下さい。
- 本品は下塗り用塗料です。必ず上塗りをして下さい。
- 上塗りには水性塗料を使用して下さい。
- モニエル瓦には使用できません。

塗装方法

- ①はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどを使用して十分に取除きます。
- ②塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分・ワックスはペイント用溶剤で拭いてよく落とします。
- ③塗装面が濡れている場合や漏れている場合は、正常な塗膜を形成しませんので十分に乾燥させます。
- ④右の下地処理の注意に当たって下地処理を行います。
- ⑤塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープやマスカーなどでおおいします。
- ⑥フタを開ける前に容器を逆さまにして十分に振り動かしく混ぜます。
- ⑦本品はうすめずそのまま塗ります。
- ⑧必要量をローラートレイなどのさびない容器に移します。
- ⑨コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
- ⑩平らで面積の広いところはローラー・バケ、コデバケ、オートローラーなどを使うと、楽に塗ることが出来ます。
- ⑪吸い込みの激しいところは、しばらく待って表面が乾いてから再度塗り重ねます。
- ⑫塗膜が厚くならないように(乳白色にならず透明になるように)塗装します。
- ⑬マスキングテープなどの養生は塗料が手に付かなくなったらはがします。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲、誤食、いたずらをしないように注意して下さい。
- ②残った塗料は、フタをし、直射日光や-5℃以下の場所を避けて保存して下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
<http://www.asahipen.jp>

お客様相談室 東京 03-3846-9545 / 大阪 06-6934-0300

取扱い上の注意

- ①表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ②目に入ったり、皮膚に付着したりしないよう、また誤飲しないよう注意して取り扱って下さい。
- ③塗装中、乾燥中とも十分に換気し、塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ④塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑤屋根に塗る場合は、降りるところが最後になるように、順序を考えて塗って下さい。
- ⑥また、転落事故のないように十分注意して下さい。
- ⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に行ってください。
- ⑧塗るとき及び塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑨風の強い日や乾くまでに結露する時間帯には塗装しないで下さい。
- ⑩上塗りは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- ⑪あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、乾燥性・下地への影響・密着性等を確かめてから塗装して下さい。
- ⑫塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより異なります。
- ⑬特に塗り面積は、表面状態や吸い込みの違いにより大きく異なります。
- ⑭容器は塗料を使い切ったから捨てて下さい。
- ⑮やむを得ず塗料を捨てる場合は、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

下地処理の注意

- ①つるつるした面は、サンドペーパー(#200~#300程度)で表面を荒らしてから塗って下さい。
- ②鉄やくぎなどの鉄部には十分にサビを落としてから塗って下さい。
- ③新しいコンクリートやモルタルに塗る場合は、施工後3週間以上経ってから塗って下さい。
- ④瓦屋根やモルタル壁などで劣化が激しく表面がポロポロと取れるような場合は、本品の代わりにアサヒペン油性シーラーを使用して下さい。
- ⑤水がはじく箇所には塗装できません。
- ⑥吸い込みが少なく、ハジキが生じる塗装面には適しません。

危険



●臓器の障害のおそれ

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。



キャップ: プラスチック(PP)
内 ぶ た: プラスチック(PE)
容 器: プラスチック(PE)

日本製 00-1110